

経営理念

『健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する』

八十二銀行のありたい姿（長期ビジョン）

『日本の真ん中で 輝いている銀行』

経済のグローバル化・高度化への対応、八十二銀行ならではの強みの確立、コンプライアンス・内部統制の強化など経営の質向上、職員がいきいきと輝く組織づくりなど、総合的な企業価値の向上に取組み、永続的に発展する銀行を目指します。



八十二銀行の“輝く姿”を、お客さま、地域、財務、組織風土などの視点から捉え、8つの輝きとして掲げます。

長期的経営指標

長期経営計画の計画期間にかかわらず意識していく経営指標として ROE（株主資本利益率）を掲げ、実現に向け長期的に取り組んでいきます。

ROE：5%以上

第30次長期経営計画

『地域活力創造銀行への変革』

当行は、平成27年4月より平成30年3月までの3年間を計画期間とする第30次長期経営計画「地域活力創造銀行への変革」を策定し、取り組んでいます。

▼テーマ	▼主要施策	▼対応事項
地域活力を創造する	地域産業競争力の強化	起業・創業支援[長野県内創業支援先数：3年間で600先を目指す] 企業誘致支援[工場・研究所等の立地件数(企業誘致)：3年間で30件を目指す] 次世代・成長産業育成支援(次世代、農業・6次化、医療福祉、環境、観光) 事業承継・M&Aを活用した産業基盤維持・発展 外部専門家を活用した課題解決支援
	まちづくり・ひとづくりへの貢献	当行経営資源の有効活用(地域活性化スペースの提供など) 官民協働による地域経済活性化支援 移住・交流支援(信州ファン醸成) 県内企業の人材創出支援
お客さま利便性を進化させる	お客さま接点の強化	非対面チャネルの機能強化 店舗・営業体制の見直し
	お客さま対応力の向上	相談機能の強化 お客さま利便性を重視した事務手続きの見直し
企業力を向上させる	収益源の多様化	グループ会社を含めた資産運用ビジネスの強化 海外拠点の機能強化 異分野進出・新事業展開(グループ会社含む)
	環境経営の深化	環境保全活動の強化[温室効果ガス排出量10%削減(2010年度比)を目指す]
	従業員の活躍フィールド拡大	多様な能力・価値観・発想を持った人材の育成と活躍ができる環境づくり[女性管理職数40%増加(2015年4月1日比)を目指す]

目指す経営指標(平成30年3月)

当期純利益
(単体)

200億円

連単倍率
(当期純利益)

1.2倍

株主還元率

40%

経営指標のこれまでの推移は、7ページに掲載しています。➡